



野球を愛し、野球に愛された北の球聖 久慈 次郎

【指導事例1】

1 主 題 「郷土のために生きる」〔郷土を愛する態度〕

2 ねらい

個人としての名声よりも、苦境に立たされた郷土の人々のために力を尽くした先人の生き方について学び、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする心情を育む。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、野球選手としての名声よりも、苦境に立たされた郷土の人々のために力を尽くした久慈次郎の功績に触れることを通して、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、冷静な判断力と強い統率力でチームの要であった久慈次郎が活躍を認められ、全日本チームの主将として活躍する姿について触れています。

後半では、日本初のプロチームに誘われても、大火の被害を受けた函館の復興に力を尽くすため、函館に残り、野球選手として、また市議会議員として活躍した久慈次郎の姿について触れています。

指導に当たっては、久慈次郎の行動を多面的・多角的に考えることを通して、郷土や地域を愛し、郷土や地域のために自分ができることは何かについて深く考えさせることが重要です。

4 展開例—①「プロチームへの入団の誘いを断り、函館のために活躍した久慈次郎の生き方を通して、郷土のために力を尽くすことの大切さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が住む地域のよさ、好きな点、自慢したいことについて話し合う。 ○ 自分の住む地域のよさや自慢したいことなどがありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然や歴史的な街並みがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「野球を愛し、野球に愛された北の球聖」を読み、話し合う。 ○ 野球選手としての久慈次郎はどのような選手でしたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・技術面、精神面ともに優れた選手だと思う。 ・日本代表の主将を務めるということは優秀な選手だと思う。 ◎ プロ野球選手への誘いを断り、函館に残ることとした久慈次郎の決断をどう思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった函館の復興のために役に立ちたいという気持ちが立派だと思う。 ・函館の人たちのことは大切だけど、自分の夢も大切だから、自分だったらすごく悩む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈次郎という人物像について話し合い、人間理解を深めさせる。 ・久慈次郎が申し出を断った時の郷土に対する思いについて、多面的・多角的に話し合い、価値理解、他者理解を深めさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との関わり方について考える。 ○ これまで、地域のために何かしたいと考えたことはありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の役に立つようなボランティア活動に参加したいと思った。 ・地域にはいいところがたくさんあるので、多くの人に地域の魅力を知ってもらいたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土との関わりについて、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 郷土を愛し、自分の住む地域を大切にすることについて、自分との関わりで、考えを深めている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※教師自身がふるさとのためにしたいと考えていることについて話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の郷土への思いや地域のために行動したいことなどを語るにより、郷土を愛し、自分の住む地域のために力を注ぐとする心情が育まれるようにする。

【指導事例2】

1 主 題 「強い思い」〔克己と強い意志〕

2 ねらい

困難な状況にあった郷土のために、強い思いをもって活躍した先人の生き方を通して、困難を乗り越える強い意志や逆境から立ち直ろうとする態度を育てる。

3 展開例—②「久慈次郎の生き方を通して、克己と強い意志について考える展開」

4 主な学習活動

(1) 久慈次郎はどのような人物であったと考えられますか。

- ・面倒見がよくて、リーダー的存在の人物。
- ・名声が高くなっても、おごることなく謙虚な姿勢を保ち続ける人物。
- ・困難な状況にも決してあきらめない人物。

(2) 久慈次郎は、「強い思いで、この申し出を断りました」とあるが、久慈はどのような言葉で申し出を断ったと思いますか。

- ・お世話になった函館の力になりたいので、残念ですが入団はできない。
- ・函館が大変な時に、自分だけが離れるわけにはいかないので、入団はできない。
- ・函館で活躍し、函館の人たちに明るい話題を与えたいので、入団はできない。

(3) あなたが久慈次郎の立場であったら、どのような選択をしますか。

- ・自分にできることがあると考え、函館に残り、仲間と復興を目指す。
- ・東京に行き、プロ野球選手として活躍し、その姿で函館の人々を勇気付ける。
- ・自分が打ち込んできた野球の夢を叶えるために東京に行く。

□ 活動場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの、目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする学習において、伝記などの読書活動を行う際に、本教材を活用することを通して、読書の分野を広げることができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

職業や自己の将来に関する探究課題を設定した学習活動において、本教材を活用し、次郎が郷土愛や情熱によって様々な困難を乗り越えて、函館の復興に尽力した思いや願いについて考える活動を通して、自らの考えや適性を生かして自己の将来を切り拓いていこうとする意欲を育てることができるようにする。

■ 特別活動（学級活動）

学級や学校生活に関わる諸問題の解決に関する学習において、本教材を活用することを通して、次郎が郷土愛や情熱によって様々な困難を乗り越えて、函館の復興に尽力した思いや願いについて考える活動を通して、自己の役割や責任を果たして生活することや目標をもって諸問題を解決することの大切さに気付くことができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、家庭や地域内の生徒の役割について話し合ってもらおうよう依頼し、生徒が進んで郷土の発展に尽くそうとする意欲を高めることができるようにする。

